

# 全国一般神奈川

発行者

全国一般労働組合全国協議会神奈川

横浜市中区翁町 1-5-14

新見翁ビル4F

TEL. FAX.

045-319-4391

## 第23回定期大会成功！

コロナ禍の中、「安心して生活できる社会」を目指して闘いを進めよう！



9月23日、全国一般神奈川は、横浜技能文化会館で第23回定期大会を開催しました。今年はコロナ感染対策として来賓招請は基本的に行わないこととし、代議員の参加を事前集約して臨みましたが、組合員49人が集結し、来賓として、全国協の平賀委員長、県共闘の川端議長、がくろう神奈川の小内さんに参加頂きました。議長には、争議解決後、エイボンが無事定年退職された糸井さん、書記に生活クラブの綾部さんを選出し、全ての議案を圧倒的多数で承認しました。

前回の争議は、例年に比較すると非常に少ない2件となり、丈夫屋の団交拒否・解雇、しらゆり歯科の解雇・雇止めに対する闘いを取り組みました。いずれも、職場改善を求める労働者と労働組合に対する、使用者側の悪辣な労働組合つぶしであり、許すわけにはいきません。その他、非正規労働者の闘い、労働相談の取り組み、職場に組合を根付かせ

ることを課題に進めた20春闘の取り組みなど、1年間の活動の成果と課題を全体で確認しました。そして、権利侵害と闘い全ての争議に勝利すること、生活破壊を許さず21春闘を闘うこと、最賃闘争、労働法制改悪に反対し、脱原発・反戦・反差別の闘いを強化していくこと、などを柱とした今年度の運動方針を承認、例年通り年間ストライキ権を確立しました。

その後、来賓の3人の方々からの連帯挨拶と、大会メッセージを代表し、穂積弁護士の激励の言葉を全体で確認しました。

今年は大会終了後の交流会は中止し、有志で事務所に戻って反省会を行いました。コロナ禍により、倒産や経営の縮小、コスト削減など、今秋以降の私たち労働者を取り巻く状況は、更に厳しくなることが予想されます。「安心して生活できる社会」の実現のために、全ての組合員が全力を挙げて闘いを継続していきましょう。

### スケジュール

- 9月9日 19時 事務所  
神奈川合同支部会議
- 10月14日 19時 事務所  
神奈川合同支部会議
- 10月15日 14時 岡部事務所  
しらゆり歯科法対
- 10月17日 12時 本部事務所  
中央本部執行委員会
- 10月17日 18時 厚木／ムー  
エイボン会議
- 10月18日 10時 事務所  
機関誌発送作業
- 10月18日 14時 寿公園  
寿労働相談
- 10月19日 19時 事務所  
第1回担当者会議
- 10月20日 16時 藤沢  
東横イン会議
- 10月21日 14時 横浜地裁  
丈夫屋行訴第2回弁論
- 10月21日 19時 事務所  
神奈川労働相談センター会議
- 10月22日 19時 事務所  
県共闘事務局会議
- 10月24日 14時 新川崎  
みんなのみんな計画会議
- 10月24日 18時 海老名  
東海大会議
- 10月25日 10時 事務所  
神奈川PFT 横浜／MCA会議
- 10月25日 14時 事務所  
第1回支部代表者会議



# 不当労は絶対に許さない！ しらゆり1124証人尋問 傍聴支援を！

10月6日不当労働行為救済申立審問が開かれ、裁判の証人尋問に続き、委員会においても証人尋問の実施が確定しました。組合は、組合員2名が証言し医院の不当労働行為事実を明らかにします。尋問期日は11月24日10時30分、労働委員会審問室7階で行われます。裁判での証人尋問に続き傍聴しコロナ対策で傍聴制限はありますが、ご支援よろしくお願いいたします。

裁判所を挟んでの和解協議と続きました。最後に開港記念館で報告会を開催、長い一日の行動は終了しました。多くの方の傍聴支援、報告会参加大変ありがとうございます。心に従って真実を述べ何事も隠さず偽りを述べない」との誓いが白々しく思えました。

組合員2名の尋問は午後から行われました。初めての証言ということ当初は緊張していたように見えたが、主尋問、反対尋問そして裁判官からの質問にしっかりと口調で事実を話し、会社が懲戒解雇理由として「高圧的態度」、「挨拶を返さない」、「職場の風紀を乱した」ことは事実無根ときっぱりと証言しました。

一方懲戒解雇・雇止めを行った上林証人は、主尋問ではすらすらと組合

## きっぱり証言！「懲戒解雇理由は事実無根」

9月17日横浜地裁502号室で、しらゆり歯科第7回口頭弁論が開かれ証人尋問が行われました。この日10時30から始まった尋問は午後4時まで行われ、その後、

## 全国協第30回定期大会オンライン開催



全国一般労働組合全国協議会の第30回定期大会が、9月12日と13日に開催されました。今回はコロナ禍もあり、中央本部と全国の代議員をオンラインでつなぐ、Zoom会議の形式が初めて導入されました。音声聞き取りにくい場面もありましたが、おむね問題なく、争議報告、職場報告が行われました。議案はすべて承認されました。

清水理恵

## 「原発廃止は未来のため 子供たちのため」 さようなら原発首都圏集会参加報告



「9・18さようなら原発首都圏集会」が9月18日、東京・日比谷野外音楽堂にて開催されました。コロナ禍で3月開催が中止となり久々の開催となりました。入り口では、手をアルコール消毒し、体温測定、集会案内チラシも自分で取り、会場内では間隔を開けるなど3密を避けるなどコロナ対策も講じたがらの開催でした。集会は、主催者の落合さんから、長期政権だった安倍政権は終わらせた。無責任な政治で責任を取らせなければならぬとの発言から始まりました。県共闘学習会で講師をしていたいたた福島原発かながわ訴訟原告

団長の村田さんなど多くの方からの発言があり、危険な原発や原発再稼働など危険で放置できない状況が報告されました。そして最後に呼びかけ人の鎌田さんがあいさつに立ち、「核燃料サイクルはすでに破綻している。直ちに原発は止めるべきで、それが未来の子供たちのため」と集会を締めくくりました。

集会参加者1300人は、サイレントデモを基本に日比谷公園から東京駅までデモを行い、夕方の銀座をゆく人々に「脱原発、再稼働反対、廃炉を」とアピールし行動は終了しました。

（佐藤）